

参考 出雲バイパス からさで大橋

からさで大橋

橋長: L=578m

橋種: 15径間連続ポストテンションT桁

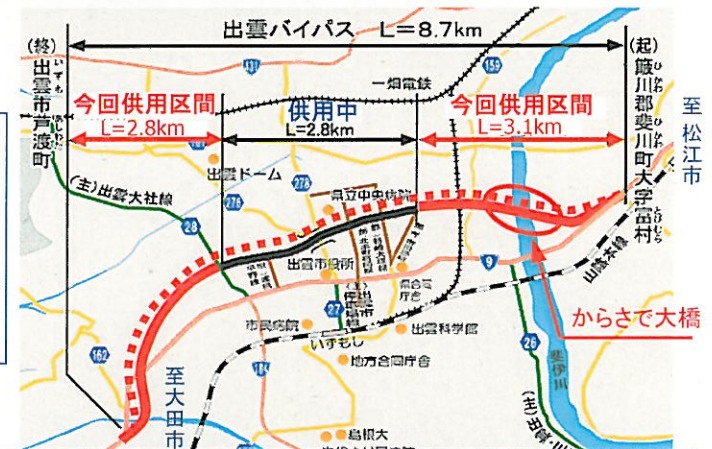
幅員: 12.75m (暫定2車線で完成)

出雲バイパスの象徴的な橋梁で一級河川斐伊川に架かる橋で、桁高を、高さ約2.0mで統一。橋脚は幅広のT型橋脚で概ね39mの等間隔に設置。自然景観に配慮し、水平性と規則性を強調しました。



経緯

周辺地域は神話と関わりが深く、多くの歴史文化を有していることから、地域特性を生かした、道路利用者や地域住民に親しまれる橋となるよう専門家や地域の方々等で構成した「新神立橋景観及び橋梁名称検討委員会」(H17.2~H18.3)を設置し、橋梁名称や高欄・親柱・照明柱のデザインを検討しました。また、橋梁名称の一般募集(応募者344名)やデザインのパブリックコメントを実施し、橋梁名称等を決定しました。



「からさで」とは？

・「からさで」という言葉は、神在(有)月[出雲大社は旧暦10月、他の神社では月遅れでの新暦11月]に出雲に集まった全国の神様をお見送りする神事で、出雲地域における神事や行事、風習を表す言葉として、人々に伝承され根付いてきたもので、ふるさとの言葉・やさしい言葉として残っているものであり、口伝えで残されてきた言葉である。

【ひらがな表記について】

・関連文献からも漢字表示は当て字であり、その言葉の意味ははっきりしないと記されており、口伝えで残されてきた言葉であることから、ひらがな表記にすることで、子供から大人まで誰もが分かり、親しみやすい名称となっています。

